

信濃川大河津資料館友の会だより

● 講座開催のお知らせ ●

信濃川大河津資料館友の会では、下記講座を開催します。ぜひ、ご参加下さい！

・土木技術映画鑑賞会、荒川探訪事前学習会

土木学会賞を受賞した「荒川放水路物語」の映画を鑑賞します。また、6月22日～23日に開催される荒川探訪バスツアーの事前学習会を行い、行程確認、役割分担などを決めます。

日時：6月13日（土）13：30～16：00

会場：大河津資料館 2F 多目的ホール

・東京荒川探訪バスツアー

関東を流れる荒川を視察し、関係施設を巡ります。見学地や費用など、詳しくは別紙のチラシをご覧ください。

日時：6月22日（月）～23日（火）

定員：25名

・荒川探訪報告会

大河津分水を訓む～双書発刊記念講演会

1部の“荒川探訪報告会”では“東京荒川探訪バスツアー”で視察した箇所を写真やスライドで紹介いたします。2部の講演会では大河津分水双書第9巻の発刊を記念して、執筆者の五百川清さんより講演いただきます。

日時：7月11日（土）

1部 13：30～14：30

2部 14：30～16：30

会場：大河津資料館 2F 多目的ホール

・新旧可動堰見学ツアー

私たちの越後平野を守り続けている可動堰と現在行われている可動堰改築工事現場を見学します。可動堰改築工事の様子は2ページ目の“今号の可動堰”で紹介しています。

日時：8月8日（土）10：00～12：00

集合：9：50までに大河津資料館へ集合

費用：6,000円（保険代、バス代）

定員：25名

講座への参加を希望される方は、【講座名・氏名・連絡先・参加人数】を友の会事務局までご連絡下さい（TEL.0256-97-2195 FAX.0256-97-2196）。定員に達し次第締め切らせていただきますのでご了承下さい。また、東京荒川探訪バスツアー、新旧可動堰見学ツアーは座席数、費用の面から当日の参加を受け付けることができません。必ず事前にお申し込み下さい。

イベント報告

4月11日(土)お茶を楽しむ会、5月9日(土)友の会総会、五千石遺跡説明会が行われました。編集部担当者より各講座のイベントを報告します！

お茶を楽しむ会

朱傘と毛氈で彩られた資料館4階の展望室で美しい和服姿の役員・お手伝いの方々から心のこもった抹茶をいただきました。煌々と輝く分水路を眺めながら、久しぶりに心安らぎ、すがすがしい気分になりました。



友の会総会

平成20年度事業・会計報告、平成21年度事業計画・予算案、役員改選などについて提案されました。いずれもこの提案の通りに承認されました。友の会の会員数・資料館の入館者数が増えていること、早川会長が河川功労者として表彰されるとの嬉しい報告もありました。



五千石遺跡説明会

燕市教育委員会の松島悦子さんから3年間かけて調査した五千石遺跡の講話がありました。専門的な内容をわかりやすく、また、出土した土器や石器などの実物を持参してお話していただき、引き付けられました。



今号の可動堰

現在行われている堰本体工事は、堰柱3基が6月に完成を予定しています。また、川の流れによって川底が掘られないように防ぐための護床工や堰の地盤が浸透水によって空洞化しないように遮水矢板を打込む工事などが行われています。8月8日(土)の“新旧可動堰見学ツアー”では実際に工事を行っている現場の中に入り、新しい可動堰を身近で見ることができます。

新可動堰完成に向けて、可動堰周辺の定点撮影を紹介します。



右岸堰軸から撮影
(平成21年5月15日撮影)



右岸堰軸から近景を撮影
(平成21年5月15日撮影)

ボランティアガイド募集！

ボランティアガイドは、資料館に来館された方へ資料館内の展示や屋外などご案内します。今年度は4回の研修会を行い、10月頃の実践を目指しています。第1回目の研修会が6月13日（土）10:00～12:00に行われます。大河津分水について一緒に勉強してみませんか？



花の種を蒔きませんか？

資料館玄関前にあるプランターに花の種蒔きをお手伝いしてくれる方を募集しています！種蒔きの他に草取りなど、資料館の玄関前を綺麗にしませんか？次回は6月13日（土）9:00～10:00に行います。また、花の種や球根を提供してくれる方も大歓迎です！

緊急募集！！

友の会活動に使用するため、コピー機を安価で譲っていただける方を探しています。譲っていただける方は友の会事務局までご連絡をお願い致します。

平成21年度友の会活動予定

大河津資料館友の会では平成21年度下記の活動を予定しています（水色：講座、黄色：支援活動）。今後の友の会だよりなどで詳細をお知らせしますので、ぜひご参加下さい！

区分	回数	名称	日時	会場
講座	1	お茶を楽しむ会	4/11(土)11:00～14:00	資料館4F
	2	五千石遺跡説明会	5/9(土)15:10～16:30	大河津出張所
	3	土木技術映画鑑賞会、荒川探訪事前学習会	6/13(土)13:30～16:00	資料館2F
	4	東京荒川探訪バスツアー	6/22(月)23(火)	現地:東京荒川
	5	大河津分水を囲む-双書発刊記念講演会、荒川探訪報告会	7/11(土)13:30～16:30	資料館2F
	6	新旧可動堰見学ツアー	8/8(土)10:00～12:00	現地:可動堰
	7	大河津分水俳句を楽しむ会	9/5(土)13:00～15:30	資料館2F
	8	刈谷田川探訪バスツアー	9/16(水)	現地:刈谷田川
	9	サケまつり	10/17(土)12:00～13:30	資料館1F
	10	信濃川源流ツアー事前学習会	10/17(土)14:00～16:00	資料館2F
	11	信濃川源流ツアー	10/24(土)25(日)	現地:川上村
	12	川の物語発表会	11/28(土)13:30～16:30	資料館2F
	13	友の会活動を考える会	12/12(土)14:00～16:30	資料館2F
発送作業	1	会報等の発送作業-15号	5/23(土)10:00～14:00	資料館3F
			5/24(日)10:00～14:00	
	2	会報等の発送作業-16号	8/8(土)10:00～14:00	資料館3F
			8/9(日)10:00～14:00	
3	会報等の発送作業-17号	11/14(土)10:00～14:00	資料館3F	
		11/15(日)10:00～14:00		
4	会報等の発送作業-18号	2/20(土)10:00～14:00	資料館3F	
			2/21(日)10:00～14:00	
繁忙期支援	1	おいらんど中時の来館者対応・館内巡視	4/19(日)9:00～16:00	資料館
ガイド	1	研修会-資料館スタッフ案内状況ビデオ撮影(展示図録持参のこと)	6/13(土)10:00～12:00	資料館
	2	手引き書作成(展示図録持参のこと)	7/11(土)10:00～12:00	資料館3F
	3	研修会-ガイド実践①	9/12(土)10:00～12:00	資料館
	4	研修会-ガイド実践②	9/26(土)10:00～12:00	資料館
	5	ガイド開始	10/17(土)11:00～14:00	資料館
奉仕活動	1	花壇肥料入れ・球根採取・種まき	5/9(土)11:00～12:00	資料館玄関
	2	花壇植え替え・アサガオ種まき	6/13(土)9:00～10:00	資料館玄関
	3	花壇アサガオ種取	9/26(土)9:00～10:00	資料館玄関
	4	花壇マリーゴールド種取	10/17(土)9:00～10:00	資料館玄関
	5	草取り・ゴミ拾い	10/17(土)10:00～11:00	大河津分水
	6	花壇球根植え	11/14(土)9:00～10:00	資料館玄関
資料整理	-	図書整理・資料整理	随時	資料館3F
	-	大河津分水写真撮影	随時	大河津分水



大河津分水路の思い出

友の会会員 田中 隆夫

昭和6年可動堰と同年に竣功した第二床固は、35年余りに及ぶ幾多の洪水により、水叩先端部が深掘りし(最大20m以上)床固めが危険な状態で、ブロック投入等種々の補修工事を実施したが効果がなく、抜本的な対策として下流に副堰堤を新設、洗掘部の水位を上げウォータークッションにより水のエネルギーを消耗させ、洗掘を防ぐよう計画が立てられました。工事は昭和41年10月着工、昭和48年3月に完成しました。岩盤に埋設するニューマチックケーリン工法による堰堤で、私もケーリンに入るのは初めての経験でした。水深16mの水圧で、身の空気の抜き方もままならず、責任感と不安感でいっぱいでした。今、野積橋を渡る時、完成から35年以上経過した副堰堤が、分水路の砦として役目を十分に発揮している雄姿を見て、今後も無事であることを願っています。

昭和40年11月12日、その日は朝から雨模様で可動堰の扉は7門開いていました。ピアアの地下水を測定中に原田帝さんは、分水路に転落し行方不明になりました。それから昼夜を問わず毎日事務所職員も30名以上交替で1週間、分水路、海岸と捜しましたが発見されぬまま、31日目に捜索の終結を奥様に告げ、打切られました。43年過ぎた今も発見されていません。当時、私は現場の担当者として、ご家族の方に何とお詫びをしたのか、大河津分水工事殉職之碑に100人目の殉職者に原田さんの名前が刻名され、今でも現場を見ると、当時の事を思い出し、改めて故人のご冥福をお祈りいたします。



水は無限でないのです

友の会会員 高橋 貢治

情報ライブラリーは知識の宝庫です。河川に関する図書のほか、土木、災害、水などに関するものなど興味深い図書が閲覧できる。

最近得た情報から、「水の惑星」と言われる地球の水が危機的な事態であることを知り、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

「世界水フォーラム」の資料によれば、『世界の11億人は安全な水を飲むことができない。約24億人は下水道施設を持っていない。不衛生な水のため、8秒ごとに子供が1人亡くなっている。』、『地球上の水は97.5%が海水です。淡水は2.5%しかなく、さらに極地の氷や蒸発する水は使えず、使える水は1%にも満たない。地球上の水を風呂桶一杯の水とすると、人間が使える水はわずか一滴にすぎない量だと言えよおそ想像できよう。』、『開発途上国の下水は、その90~95%は処理されず身近な川などに直接流され、自然の水環境を汚染しています。』

蛇口をひねればすぐにでも飲めるとのんびり構えていられない。“湯水”のように使う時代は終わったのです。私たち1人1人が水を大切に使い、汚さないように心がけたいものですね。

次のご指名は山田美登里さんと細野美恵子さんです。